

日油（株）武豊工場で爆発事故 男性作業員 1 人死亡

11月4日午後7時35分頃、愛知県武豊町北小松谷の日油（株）武豊工場で爆発事故が発生。男性作業員1人が死亡。

爆発事故が発生した工室では、10年前から、エアバッグ用ガス発生剤への点火に使用する点火剤を製造しており、ボロンと硝酸カリ（硝石）を水と混合してスラッジ状にし、熱風中へ噴霧して粉末状にする作業をしています。1バッチで100kgから150kgくらいを製造し、1日1回の作業。朝7時から夜11までを2交代制で作業を行っており、当日は2直目の作業中に事故が発生。発火原因は、水の中で薬品を攪拌する作業中のことで、現在調査中。

死亡した木村勝彦さん（38）＝同県南知多町内海＝は、爆発のさい発生した熱風で3mほど吹き飛ばされ、救急車で市立半田病院へ搬送されましたが、間もなく死亡が確認されました。死因は現在調査中で、司法解剖される模様。

武豊工場では、00年8月に保管中の無煙火薬7.7トンが爆発し、100人を超える住民が重軽傷を負い、民家など約1500棟が被災する爆発事故がおきています。また、05年8月にも、危険物屋内貯蔵所で火災があり、昨年2月、今回と同じ工室で放出された熱風が原因で隣接する枯れ草に引火して火災を起こしています。

相次ぐ爆発・火災事故に住民の不安の声が高まっており、日本共産党武豊町議員団は、5日、水野和廣愛知事業所長に「爆発事故の原因究明と安全確保に関する申し入れ」を提出し、原因究明と安全確保、住民への説明、再発防止を求めました。

（写真：記者会見する水野和廣愛知事業所長（右から3人目）立って説明しているのは中塚漢二武豊工場長など工場関係者）